

平成19年度 事業評価書

地 域 名	東京都港区ほか6区	選定年度	H17年度	事業規模	大規模事業
まちづくり協議会名	クールルーフ推進協議会				
モデル事業名	クールルーフ推進事業				

1. 事業の実施状況

委託事業	事業期間	H17年度	普及啓発事業等として、温暖化シンポジウムを開催。また、協議会のホームページ、地域資源マップを作成。効果測定手法の検討を実施。
		H18年度	普及啓発事業等として、クールルーフ推進セミナー・シンポジウムを開催。また、屋上緑化や高反射率塗料に関するポスター、リーフレット等を作成。
		H19年度	普及啓発事業として、屋上緑化やヒートアイランド対策に関するシンポジウムを実施。また、クールルーフ普及啓発ポスターを作成。さらに、新聞や雑誌等を利用して事業に記載
交付金事業	事業期間	H17年度	公募要項の策定等に時間を要し、事業未実施。
		H18年度	クールルーフ推進事業(公募型助成事業)として、屋上緑化・高反射率塗料導入助成事業を実施。
		H19年度	クールルーフ推進事業(公募型助成事業)として、屋上緑化・高反射率塗料導入助成事業を実施。

2. 評価・分析

①事業の特色・モデル性	<p>既存の民間建築物を対象として、ヒートアイランド対策及び地球温暖化対策の推進のため、薄層屋上緑化と高反射率塗料の普及を支援する事業。これらの技術は、既存施設への対策を可能とするものであり、同様の課題を抱える他都市へも広く波及することが見込まれる。</p> <p>また、対策実施建築物における就業者及び居住者等の環境配慮意識の向上にもつながることが期待される。</p>		
②環境保全効果 (二酸化炭素排出削減効果等)	二酸化炭素排出削減効果		備 考
	目 標 値	19.00	H17年度、H18年度事業分
	実 績 値	57.05	H17年度、H18年度整備施設のH19年度稼働実績
	(目標値・実績値単位:t-CO2/年)		
目標値を大幅に上回る効果を達成している。引続き、さらなる二酸化炭素削減に向けた取組み実施を期待する。			
③経済活性化効果	年度の事業費用を超えた申請があり、納入主体への直接効果があったと思われる。効果の算定手法については、より具体化に努められたい。		
④その他	本事業は、ヒートアイランドの顕著な都心7区についてが実施されているが、今後この取組が他地域にも広がるよう努められたい。		